

2021年度 決算説明会

2022年5月11日

ブラザー工業株式会社

常務執行役員財務担当 伊藤 敏宏

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

- **業績ハイライト**
- **2021年度 通期業績**
- **2022年度 業績予想**
- **株主還元**
- **トピックス**
- **Appendix**
 - ・ **2021年度 第4四半期（1-3月期）業績**
 - ・ **セグメント業績概要（2021年度業績）**
 - ・ **セグメント業績概要（2022年度業績予想）**
 - ・ **財務の状況/キャッシュ・フロー/設備投資/償却費/研究開発費**

業績ハイライト

2021年度 通期業績

◆ **売上収益** **7,109億円/ +12.5%（前年比）**

- ✓ 為替のプラス影響に加え、主にマシナリー事業、P&S事業が堅調に推移し、増収

◆ **事業セグメント利益** **846億円/ +8.3%（前年比）**

- ✓ 物流・部材コストの悪化が続いたものの、主にマシナリー事業、P&S事業における粗利増やP&S事業における平均単価の上昇に為替のプラス影響が加わり、増益

◆ **営業利益** **855億円/ +100.1%（前年比）**

- ✓ 前年度に計上した、ドミノ事業におけるのれんの一部の減損損失などがなくなったことにより大幅な増益

◆ **親会社当期利益** **610億円/ +148.9%（前年比）**

2022年度 通期業績予想

◆ 売上収益 **7,750億円/ +9.0%（前年比）**

◆ 事業セグメント利益 **730億円/ ▲13.7%（前年比）**

- ✓ 物流・部材コストの高騰や部材の調達難などによる影響をリスク要因として織り込む一方で、中期戦略「CS B2024」に掲げる未来に向けた先行投資を実施
- ✓ 売上収益は為替のプラス影響が加わり増収、事業セグメント利益は各種リスクを織り込み減益を見込む

株主還元

- ✓ 2021年度の1株当たり年間配当は、64円とする（4円増配）
- ✓ 100億円を上限として、自己株式の取得を実施中（期間：2022年2月2日～2022年7月29日）
- ✓ 2022年度の1株当たり年間配当は、68円を予定（4円増配）

2021年度 通期業績

為替のプラス影響に加え、主にマシナリー事業、P&S事業が堅調に推移し増収増益となる
営業利益以下は、前年に計上した減損損失などがなくなったことにより、大幅な増益となる

単位：億円

	20年度 実績	21年度 実績	増減	増減率 ()は為替影響 除く増減率	前回予想	増減	増減率
売上収益	6,318	7,109	791	12.5% (+6.4%)	7,000	109	1.6%
事業セグメント利益	781	846	65	8.3%	810	36	4.4%
事業セグメント利益率	12.4%	11.9%			11.6%		
その他の収益・費用	-353	9	363		10	-1	
営業利益	427	855	428	100.1%	820	35	4.3%
営業利益率	6.8%	12.0%			11.7%		
税引前利益	429	864	435	101.3%	825	39	4.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	245	610	365	148.9%	580	30	5.2%
USD	106.17	112.86			111.14		
EUR	123.73	131.01			129.92		

<参考> 為替感応度* (21年度実績)
(億円) 売上 事業セグメント利益

USD	16	▲1
EUR	11	10

*為替レート1円変動時の影響

2021年度通期 事業セグメント別実績

単位：億円

		20年度実績	21年度実績	増減	前回予想	21年度実績	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	3,848	4,242	395	4,198	4,242	44
	事業セグメント利益	652	598	-54	580	598	18
	営業利益	610	594	-16	593	594	1
パーソナル&ホーム	売上収益	537	500	-37	495	500	5
	事業セグメント利益	98	81	-17	82	81	-1
	営業利益	96	82	-14	84	82	-2
マシナリー	売上収益	789	1,113	324	1,063	1,113	50
	事業セグメント利益	41	140	98	119	140	21
	営業利益	33	139	106	120	139	19
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	310	296	-15	301	296	-5
	事業セグメント利益	-52	-27	25	-28	-27	1
	営業利益	-73	-6	68	-7	-6	1
ドミノ	売上収益	698	817	119	795	817	22
	事業セグメント利益	48	49	1	51	49	-2
	営業利益	-239	50	289	49	50	1
その他	売上収益	136	141	5	148	141	-7
	事業セグメント利益	-5	7	11	6	7	1
	営業利益	2	-4	-5	-19	-4	15
合計	売上収益	6,318	7,109	791	7,000	7,109	109
	事業セグメント利益	781	846	65	810	846	36
	営業利益	427	855	428	820	855	35

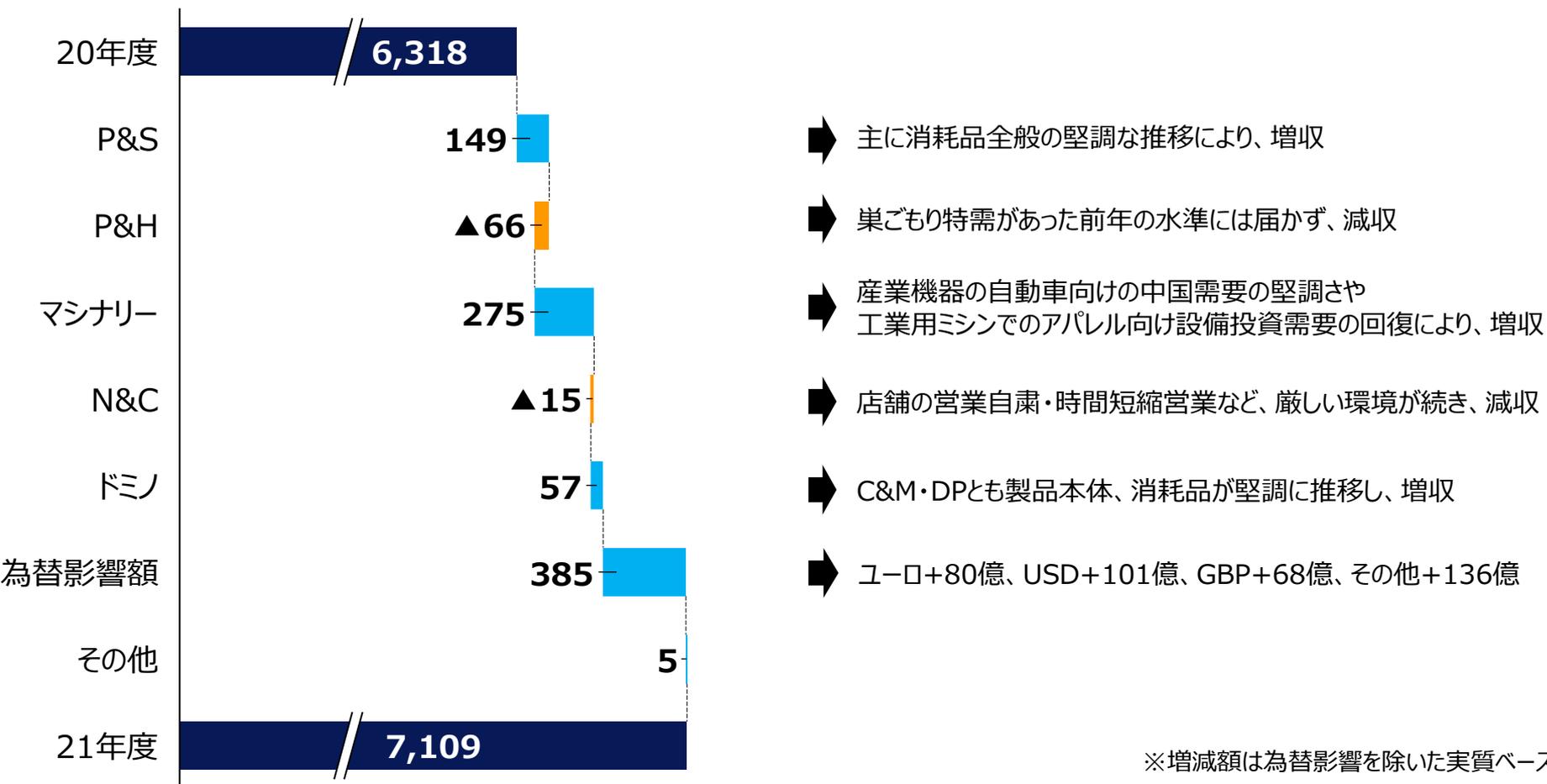
※セグメント間取引消去額は含めておりません。

部材の調達難や部材・物流コストの高騰は継続したものの、 売上・利益ともに堅調に推移

事業	振り返り
全事業	<ul style="list-style-type: none"> • 輸送運賃の高騰 • 部材の調達難・部材価格の高騰 • 新型コロナウイルス感染症拡大による工場の稼働停止・稼働率の低下
P&S	<ul style="list-style-type: none"> • 在宅勤務・在宅学習などの新しい働き方の定着による、小型複合機・プリンターの需要増加 • 市場全体での生産・供給の遅延。在庫不足継続
P&H	<ul style="list-style-type: none"> • 巣ごもり需要は一巡感も、副業用途向け需要拡大などにより中高級機が堅調に推移
マシナリー	<ul style="list-style-type: none"> • 工業用マシン：(工業用マシン)アジア・中国を中心としたアパレル市場向けの需要が回復 (ガーメントプリンター)欧米を中心にカスタマイズ需要が拡大 • 産業機器：中国の自動車関連市場向けが好調に推移 • 工業用部品：設備投資需要の回復により、堅調に推移
N&C	<ul style="list-style-type: none"> • カラオケ店舗の営業自粛・時間短縮営業など、厳しい経営環境が継続 • 不採算店舗を閉店するなど、固定費の低減を図る
ドミノ	<ul style="list-style-type: none"> • 設備投資需要は回復傾向。C&M、DPともに堅調に推移

為替のプラス影響に加え、主にマシナリー事業、P&S事業の堅調な推移により、増収となる

単位：億円

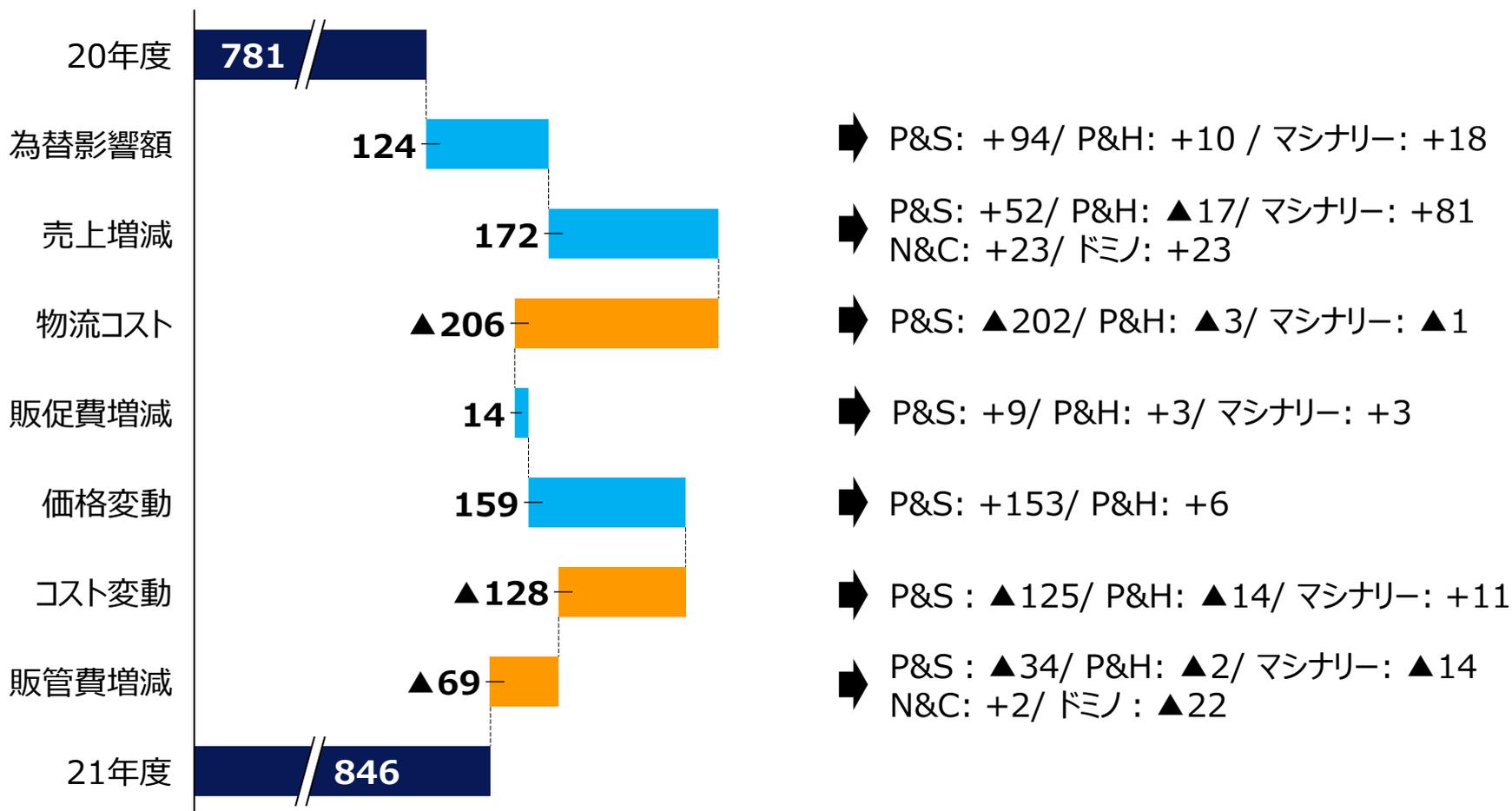


※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2021年度通期 事業セグメント利益の増減要因

物流・部材コストの悪化が続いたものの、主にマシナリー事業、P&S事業における粗利増やP&S事業における平均単価の上昇に為替のプラス影響が加わり、増益となる

単位：億円

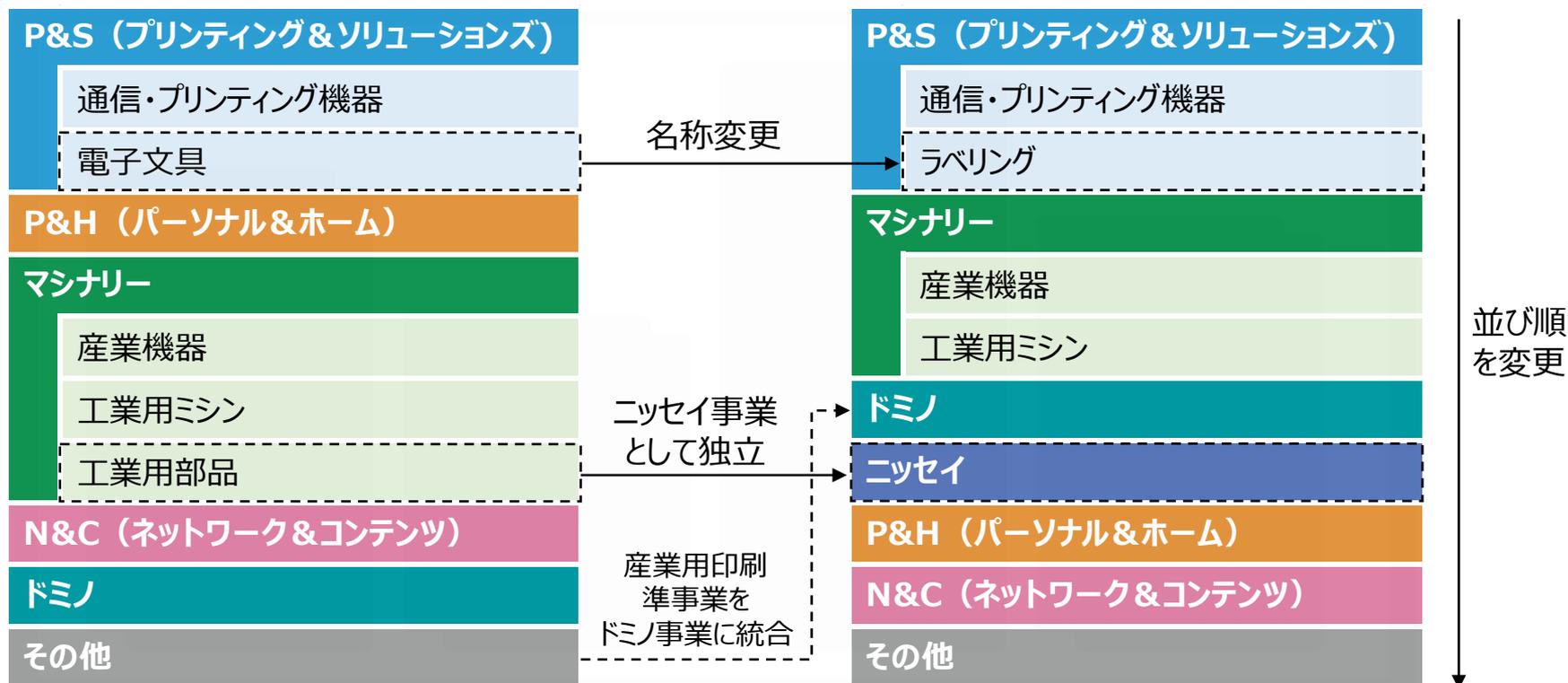


2022年度 通期業績予想

22年度以降は、開示セグメントを以下の通り変更

変更前の開示セグメント（～21年度）

変更後の開示セグメント（22年度～）



※P&S・マシナリー内のサブ事業は売上のみ開示

- 為替の前提：USD 122.00円、EUR 133.00円
- 世界経済は、コロナ影響からの正常化が徐々に進むも、地政学リスクの高まりを受け、先行き不透明な状態が続く
- 物流の混乱・部材調達難による供給制約のリスクを織り込む
- 中期戦略「CS B2024」に掲げる未来に向けた先行投資を実施

各種リスクを織り込む一方で、中期戦略「CS B2024」に掲げる未来に向けた先行投資を実施。売上収益は為替のプラス影響が加わり増収、事業セグメント利益以下は減益を見込む

単位：億円

	21年度 実績	22年度 予想	増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	7,109	7,750	641	9.0% (+4.5%)
事業セグメント利益	846	730	-116	-13.7%
事業セグメント利益率	11.9%	9.4%		
その他の収益・費用	9	0	-9	
営業利益	855	730	-125	-14.6%
営業利益率	12.0%	9.4%		
税引前利益	864	730	-134	-15.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	610	510	-100	-16.4%
USD	112.86	122.00		
EUR	131.01	133.00		

2022年度通期 事業セグメント別予想

単位：億円

		21年度実績	22年度予想	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	4,242	4,553	311
	事業セグメント利益	598	485	-113
	営業利益	594	485	-109
マシナリー	売上収益	905	1,070	165
	事業セグメント利益	126	135	9
	営業利益	126	136	10
ドミノ	売上収益	847	900	53
	事業セグメント利益	52	43	-9
	営業利益	43	42	-1
ニッセイ	売上収益	207	220	13
	事業セグメント利益	14	18	4
	営業利益	13	16	3
パーソナル&ホーム	売上収益	500	513	13
	事業セグメント利益	81	60	-21
	営業利益	82	60	-22
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	296	369	73
	事業セグメント利益	-27	4	31
	営業利益	-6	4	10
その他	売上収益	111	125	14
	事業セグメント利益	4	-15	-19
	営業利益	3	-13	-16
合計	売上収益	7,109	7,750	641
	事業セグメント利益	846	730	-116
	営業利益	855	730	-125

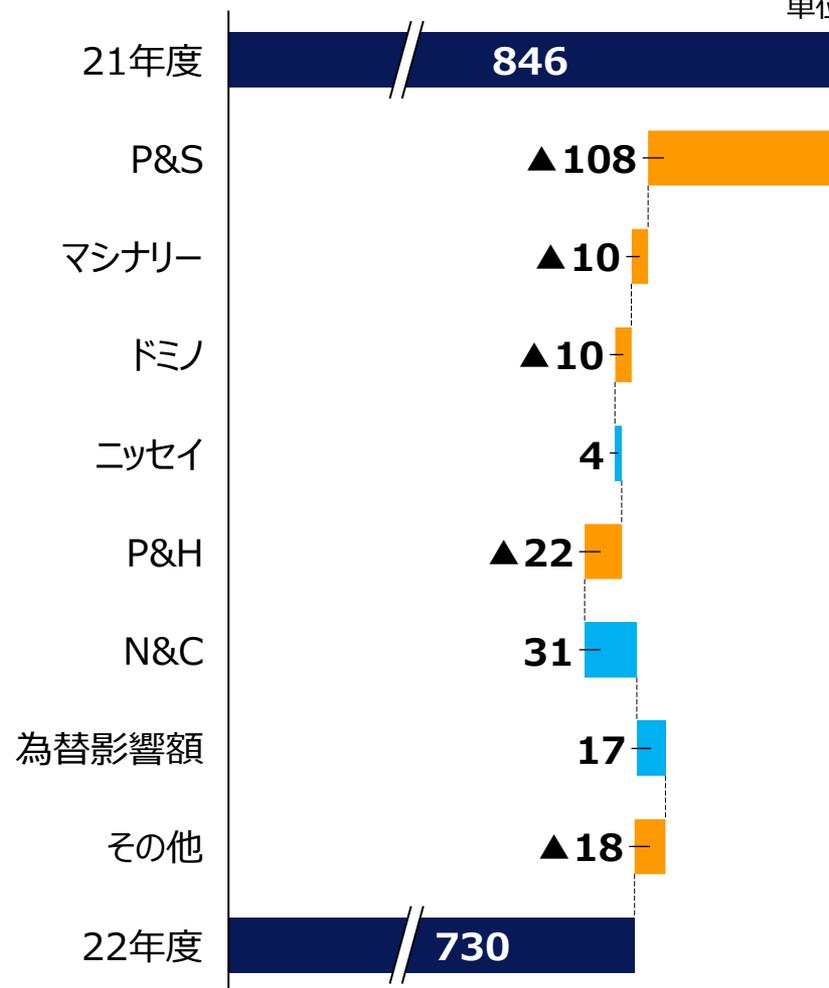
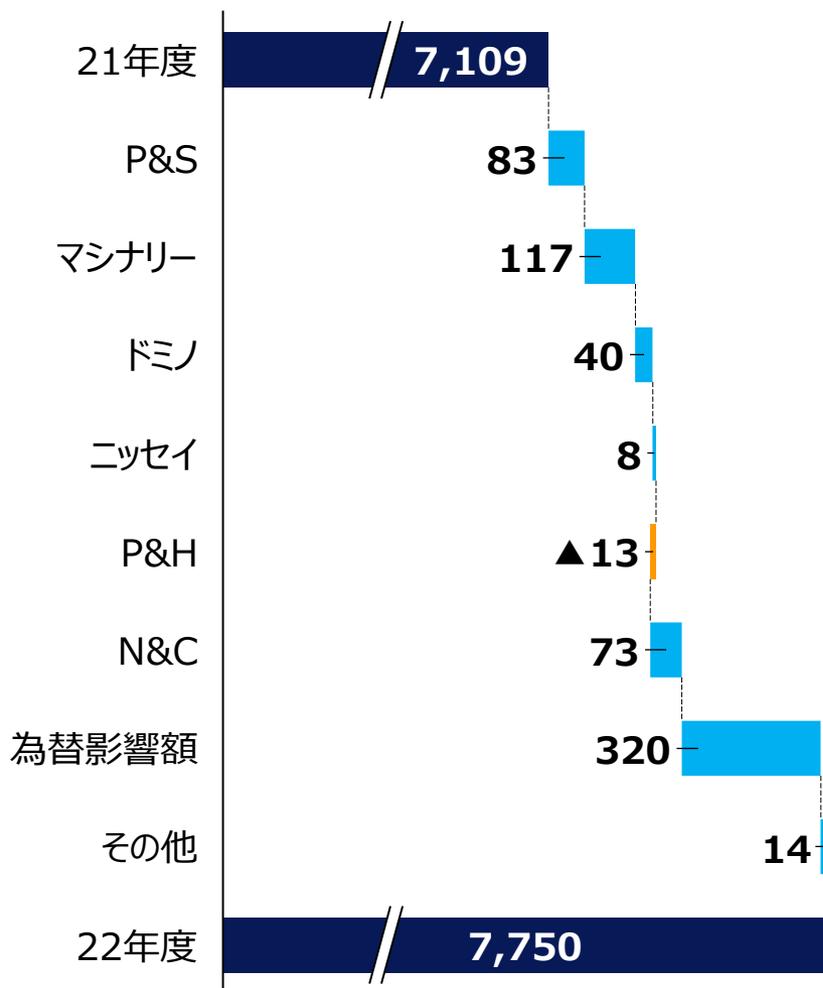
※セグメント間取引消去額は含めておりません。

2022年度通期 売上収益/事業セグメント利益の増減

売上収益の増減

事業セグメント利益の増減

単位：億円



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

株主還元

【配当予想】

- ・2021年度の1株当たり年間配当は、64円とする（4円増配）
- ・2022年度の1株当たり年間配当は、68円を予定（4円増配）

	中間配当	期末配当	年間配当
2020年度	27円	33円	60円
2021年度	30円	34円（予定）	64円（予定）
2022年度	34円（予定）	34円（予定）	68円（予定）

【自己株式の取得】

100億円を上限として自己株式の取得を実施中
 （取得期間：2022年2月2日～2022年7月29日）

トピックス

CO₂排出削減目標がSBT「1.5°C目標」の認定を取得 資源循環に関するビジョン・目標を改定

「ブラザーグループ
環境ビジョン2050」に
おける3つの重要課題



CO₂排出削減目標がSBTイニシアチブによる「1.5°C目標」の認定を取得

■ 2030年度 中期目標

[スコープ1,2*¹] 2015年度比で**65%削減**
[スコープ3*²] 2015年度比で**30%削減**

*1: 2018年に策定した目標を2021年10月に改定済み

*2: カテゴリー 1,11,12



資源循環に関するビジョン・目標を改定*¹

■ 2030年度 中期目標

循環経済型ビジネスの拡大と資源の再生利用により、**2030年度**までに
包装材料を含む製品に投入する**新規資源率**を**65%以下***²とする

■ 2050年度 ビジョン

資源循環の最大化により、**資源***³の持続可能な利用と
廃棄物による環境負荷の最小化を目指す

*1: 2018年に策定したビジョン・目標を2022年2月に改定

*2: P&S、P&H、マシナリー事業が対象

*3: 「天然資源」から「資源」に変更



P&S事業のフィリピン工場を拡張し、複合機能化 国内本社地区の新社屋の建設計画を環境配慮型に見直し

ブラザーインダストリーズ（フィリピン） 拡張（第3工場建設）



◆生産能力増強

P&S製品のさらなる販売増加に対応

◆環境機能

太陽光パネルなどによる創エネを通じ、
カーボンニュートラル実現に貢献

◆BCP機能

倉庫機能を有し、物流リスク発生時
にも一定期間の生産継続が可能

複合機能工場へ

投資額 : 約80億円
竣工予定 : 2024年1月

ブラザー工業 本社地区 新社屋 建設計画見直し



従来の【研究開発拠点・オフィス拡張】【老朽化対策】
の目的に、以下のコンセプトを追加：

◆ブラザーの環境対応フラッグシップ施設へ

太陽光パネルや最新鋭の省エネ設備の導入、積極
的な緑化により、カーボンニュートラル実現に貢献

◆働き方の変化に対応

社内外の交流を活発にする空間を創出

投資額 : 約400億円
竣工予定 : 2026年10月

Appendix

2021年度 第4四半期（1－3月期）業績

売上は、為替のプラス影響に加え、主にマシナリー事業の堅調な推移により、増収となる
 事業セグメント利益は、部材・物流コストが悪化したことにより、減益となる
 営業利益以下は、前年に計上した減損損失などがなくなったことにより、大幅な増益となる

単位：億円

	20Q4	21Q4	増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	1,643	1,760	116	7.1% (+1.6%)
事業セグメント利益	147	116	-31	-21.1%
事業セグメント利益率	9.0%	6.6%		
その他の収益・費用	-348	-22	327	
営業利益	-201	95	296	-
営業利益率	-12.2%	5.4%		
税引前利益	-201	97	297	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益	-230	68	298	-
USD	106.24	117.10		
EUR	128.10	131.30		

2021年度第4四半期 事業セグメント別実績

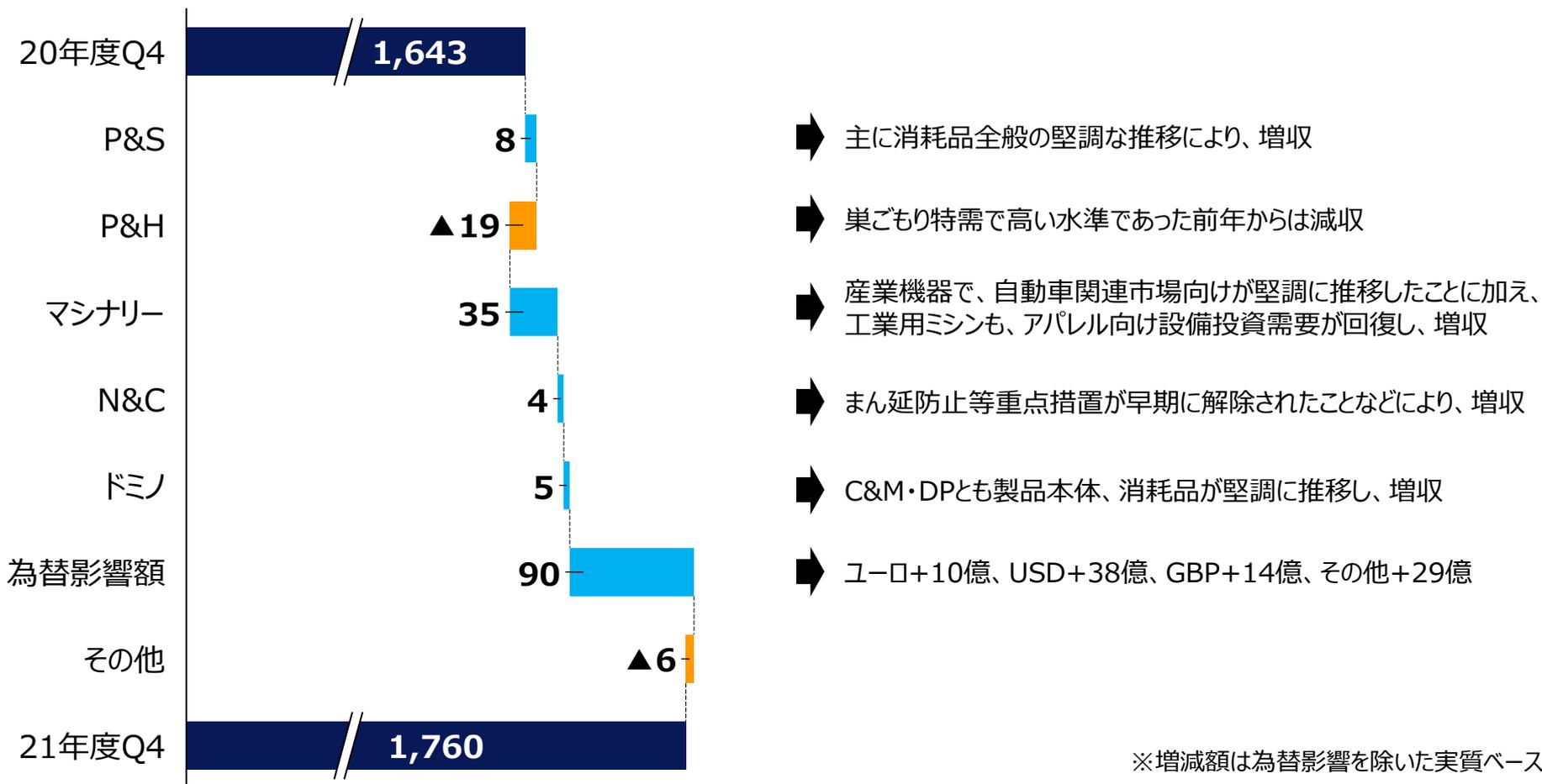
単位：億円

		20Q4	21Q4	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	976	1,042	66
	事業セグメント利益	126	96	-29
	営業利益	80	88	7
パーソナル&ホーム	売上収益	123	111	-12
	事業セグメント利益	16	8	-8
	営業利益	16	8	-8
マシナリー	売上収益	229	276	47
	事業セグメント利益	12	20	7
	営業利益	15	19	5
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	73	77	4
	事業セグメント利益	-18	-8	11
	営業利益	-45	-9	36
ドミノ	売上収益	196	214	18
	事業セグメント利益	15	-1	-16
	営業利益	-264	0	264
その他	売上収益	46	40	-6
	事業セグメント利益	-4	1	5
	営業利益	-4	-11	-8
合計	売上収益	1,643	1,760	116
	事業セグメント利益	147	116	-31
	営業利益	-201	95	296

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

為替のプラス影響に加え、主にマシナリー事業の堅調な推移により、増収となる

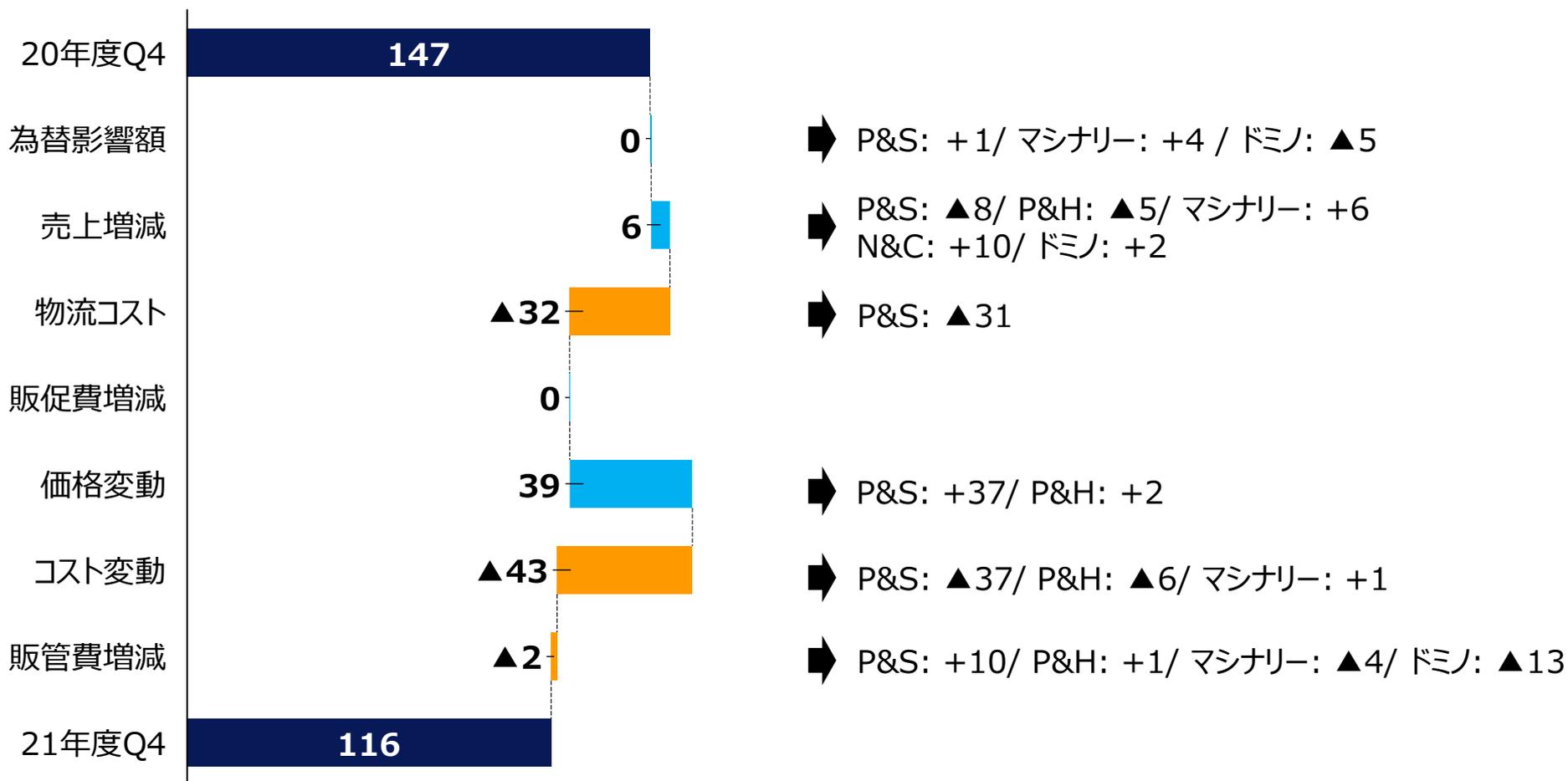
単位：億円



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

主にP&S事業における平均単価の上昇があったものの、
部材・物流コストが悪化したことにより、減益となる

単位：億円



セグメント業績概要 (2021年度 業績)

プリンティング&ソリューションズ事業

地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

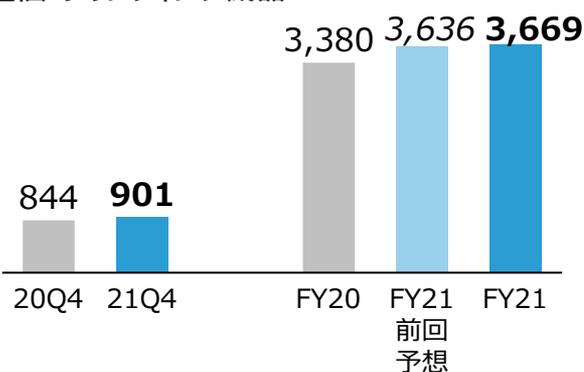
	20Q4	21Q4	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	976	1,042	6.7%	0.8%
通信・プリンティング機器	844	901	6.8%	1.0%
米州	305	328	7.7%	-2.3%
欧州	307	319	3.9%	1.1%
アジア他	140	151	7.5%	0.5%
日本	92	104	12.6%	12.6%
電子文具	132	140	6.1%	-0.3%
米州	61	61	1.0%	-8.6%
欧州	42	45	8.0%	5.0%
アジア他	15	20	29.7%	20.0%
日本	14	14	-3.0%	-3.0%

	FY20	FY21 前回予想	FY21	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	3,848	4,198	4,242	10.3%	3.9%
通信・プリンティング機器	3,380	3,636	3,669	8.6%	2.3%
米州	1,214	1,307	1,307	7.7%	0.6%
欧州	1,133	1,165	1,210	6.7%	0.8%
アジア他	622	683	698	12.2%	3.1%
日本	410	481	455	10.8%	10.8%
電子文具	468	562	573	22.5%	15.1%
米州	204	253	260	27.0%	19.0%
欧州	142	171	173	22.1%	15.0%
アジア他	70	89	91	31.3%	19.8%
日本	52	48	49	-5.8%	-5.8%

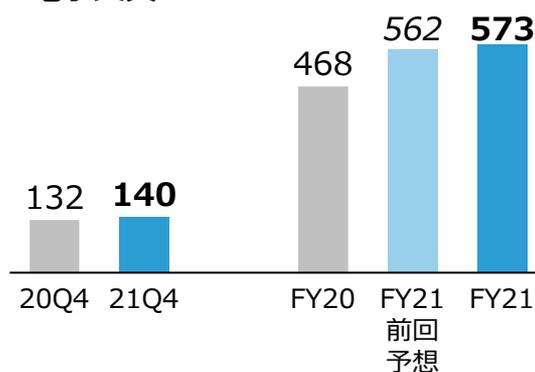
事業セグメント利益	126	96	-23.4%	-
営業利益	80	88	9.2%	-

事業セグメント利益	652	580	598	-8.3%	-
営業利益	610	593	594	-2.6%	-

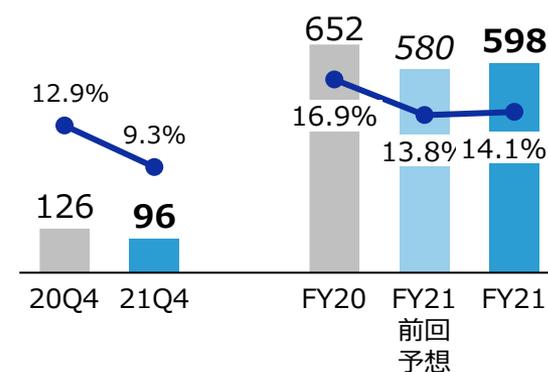
<売上収益>
通信・プリンティング機器



電子文具



<事業セグメント利益> ● 利益率



プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比

brother
at your side

	19Q1	19Q2	19Q3	19Q4	20Q1	20Q2	20Q3	20Q4	21Q1	21Q2	21Q3	21Q4	19通期	20通期	21通期
LBP															
売上伸び率（円ベース/前年比）															
本体	-9%	-8%	-7%	-2%	6%	19%	18%	18%	-10%	-4%	-9%	-8%	-7%	15%	-8%
消耗品	2%	-6%	-2%	-3%	-18%	1%	0%	-1%	21%	15%	14%	16%	-2%	-5%	16%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）															
本体	-6%	-4%	-3%	2%	11%	22%	21%	18%	-16%	-9%	-15%	-13%	-3%	18%	-13%
消耗品	4%	-1%	3%	0%	-15%	2%	2%	-3%	12%	9%	6%	9%	1%	-4%	9%
IJP															
売上伸び率（円ベース/前年比）															
本体	-2%	8%	-7%	-3%	-37%	-49%	-12%	-3%	90%	95%	17%	15%	-1%	-25%	45%
消耗品	1%	-2%	-8%	4%	-23%	-1%	9%	-6%	11%	-6%	-3%	2%	-2%	-5%	0%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）															
本体	1%	13%	-4%	0%	-33%	-48%	-9%	-3%	79%	87%	11%	10%	2%	-23%	38%
消耗品	3%	3%	-5%	7%	-20%	-1%	10%	-8%	5%	-10%	-7%	-2%	2%	-5%	-4%
消耗品比率															
	60%	58%	57%	59%	55%	57%	55%	56%	56%	57%	58%	59%	58%	55%	57%
販売台数伸び率（実績のみ/前年比）															
LBP	-13%	-4%	-2%	3%	12%	10%	6%	0%	-28%	-16%	-20%	-16%	-5%	7%	-20%
IJP	0%	13%	1%	7%	-39%	-57%	-24%	-25%	65%	101%	1%	7%	5%	-36%	34%

パーソナル&ホーム事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

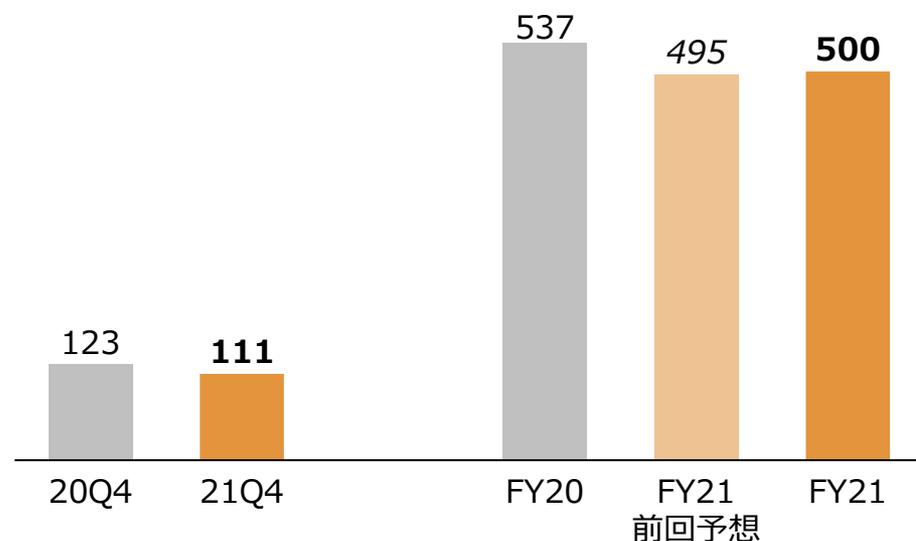
	20Q4	21Q4	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	123	111	-9.9%	-15.7%
米州	64	63	-1.1%	-10.2%
欧州	36	26	-27.3%	-29.1%
アジア他	12	12	-1.4%	-6.8%
日本	12	10	-13.9%	-13.9%

	FY20	FY21 前回予想	FY21	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	537	495	500	-6.8%	-12.3%
米州	273	270	277	1.5%	-4.6%
欧州	160	142	140	-12.3%	-17.8%
アジア他	56	51	52	-7.7%	-14.3%
日本	48	32	31	-35.2%	-35.2%

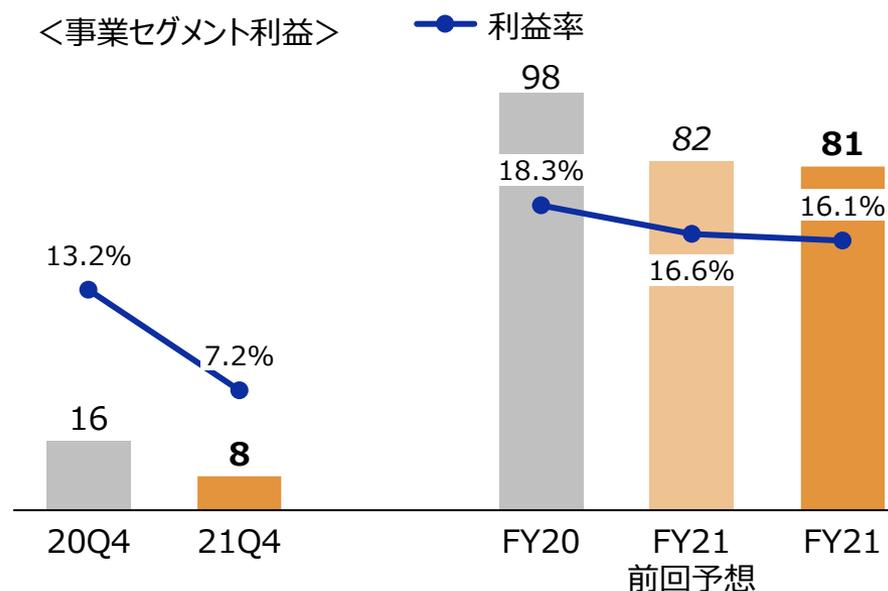
事業セグメント利益	16	8	-51.0%	-
営業利益	16	8	-49.5%	-

事業セグメント利益	98	82	81	-17.7%	-
営業利益	96	84	82	-14.9%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

	20Q4	21Q4	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	229	276	20.4%	15.1%
工業用ミシン	63	82	29.3%	19.5%
産業機器	121	141	16.8%	12.7%
工業用部品	45	53	17.8%	15.2%

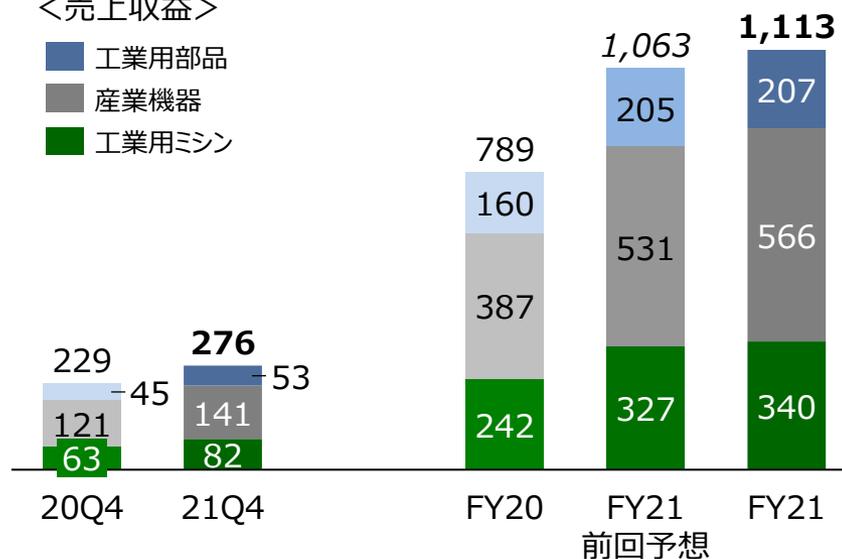
	FY20	FY21 前回予想	FY21	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	789	1,063	1,113	41.0%	34.9%
工業用ミシン	242	327	340	40.7%	31.5%
産業機器	387	531	566	46.1%	40.4%
工業用部品	160	205	207	29.3%	26.8%

事業セグメント利益	12	20	60.1%	-
営業利益	15	19	31.0%	-

事業セグメント利益	41	119	140	238.7%	-
営業利益	33	120	139	321.6%	-

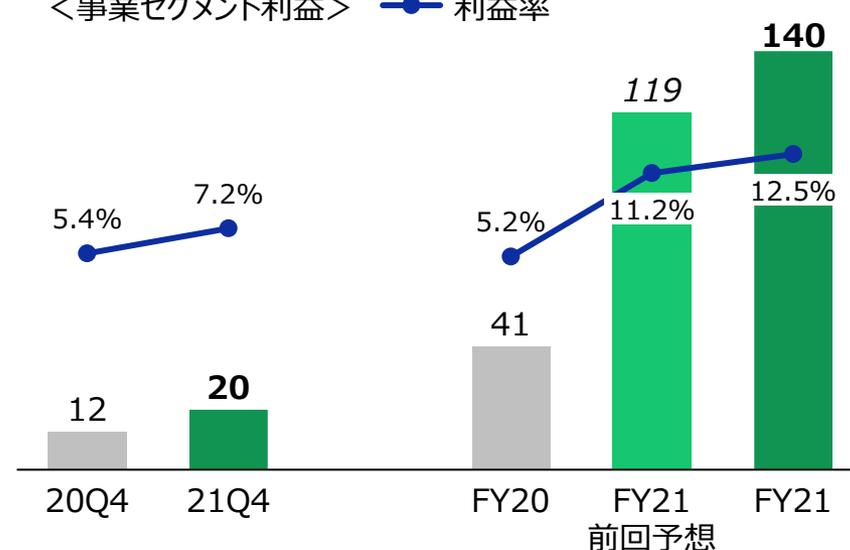
<売上収益>

- 工業用部品
- 産業機器
- 工業用ミシン



<事業セグメント利益>

● 利益率



マシナリー事業 地域別売上収益

brother
at your side

単位：億円

	20Q4	21Q4	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	229	276	20.4%	15.1%
工業用ミシン	63	82	29.3%	19.5%
米州	17	21	20.5%	9.6%
欧州	14	18	30.6%	27.6%
アジア他	29	40	37.9%	24.7%
日本	3	3	-6.5%	-6.5%
産業機器	121	141	16.8%	12.7%
米州	7	7	1.7%	-
欧州	6	9	52.3%	-
アジア他	88	100	14.3%	-
日本	20	25	22.6%	-
工業用部品	45	53	17.8%	15.2%
米州	5	8	61.4%	46.1%
欧州	-	-	-	-
アジア他	5	7	30.5%	22.8%
日本	35	38	9.5%	9.5%

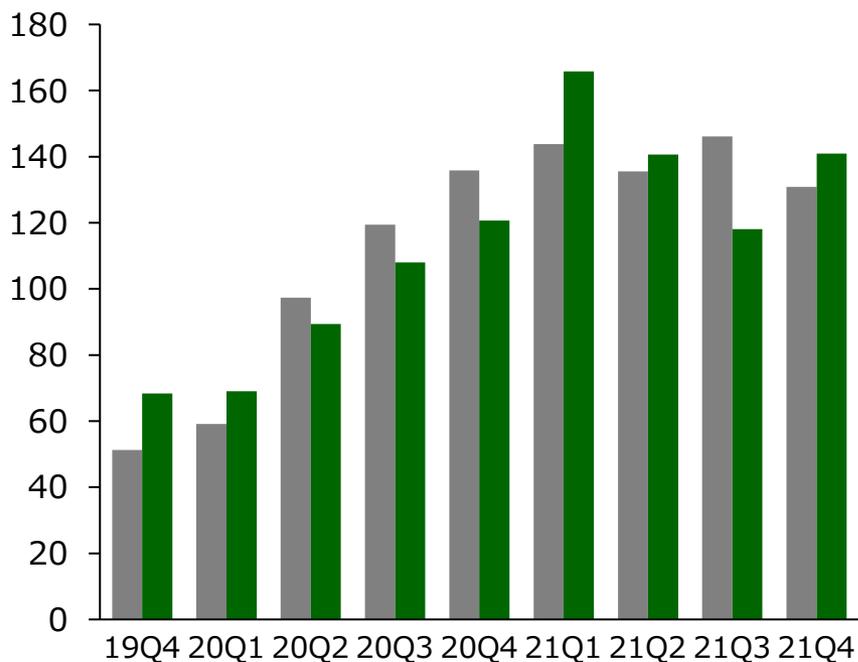
	FY20	FY21 前回予想	FY21	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
	789	1,063	1,113	41.0%	34.9%
	242	327	340	40.7%	31.5%
	87	96	94	8.2%	1.7%
	56	71	72	30.5%	23.3%
	88	146	159	81.7%	67.3%
	12	14	15	24.0%	24.0%
	387	531	566	46.1%	40.4%
	20	33	33	65.3%	-
	19	34	34	82.2%	-
	289	375	408	41.2%	-
	59	89	90	52.2%	-
	160	205	207	29.3%	26.8%
	21	28	30	45.1%	36.3%
	-	-	-	-	-
	20	27	28	45.4%	34.1%
	120	150	149	23.9%	23.9%

マシナリー事業（産業機器） 受注額の推移

単位：億円

受注額・売上収益の推移

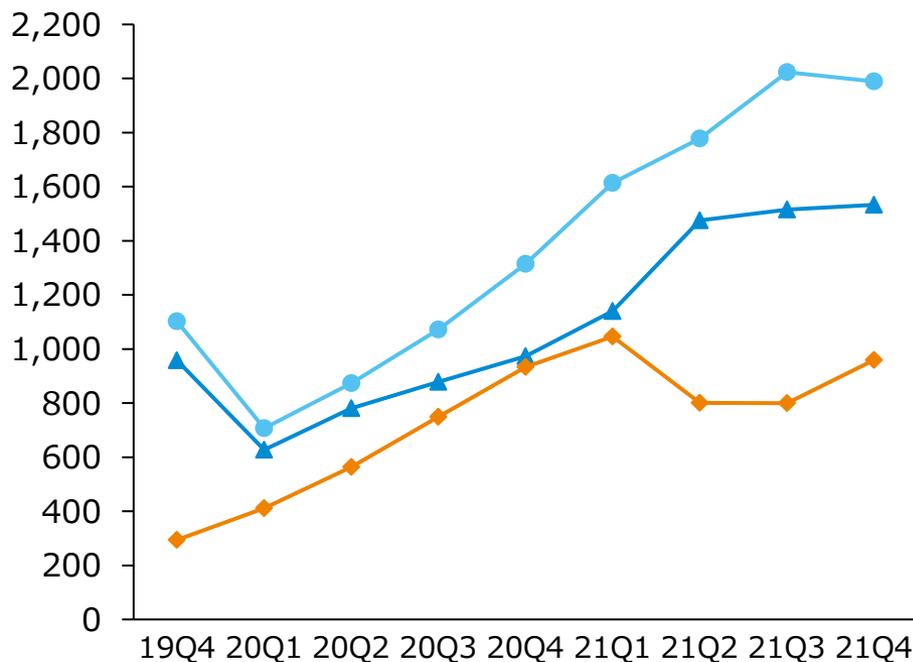
■ 受注額 ■ 売上収益



※国内・海外の製品本体の受注額合計
海外受注額は各四半期の為替レートにて円換算

(参考) 日工会受注統計

▲ 内需 ● 中国を除く外需 ◆ 中国



※出所：（一社）日本工作機械工業会 工作機械主要統計より

ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

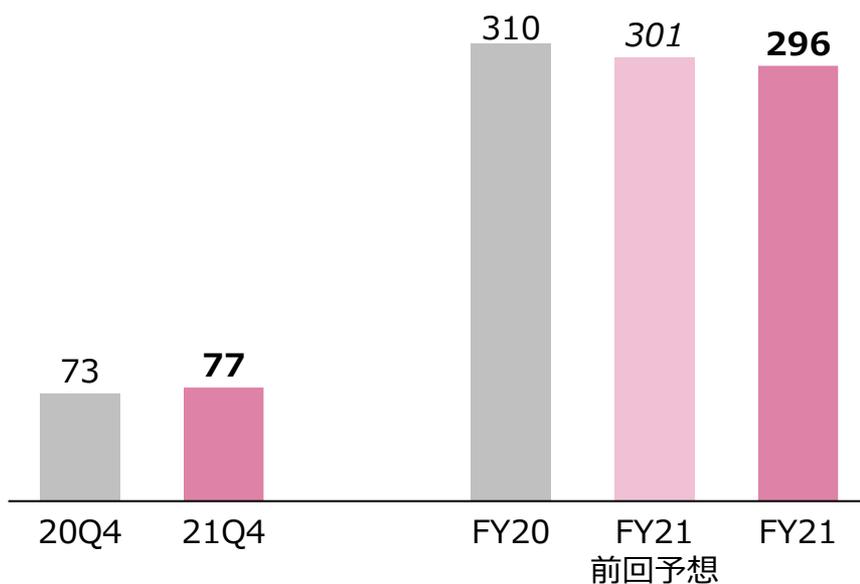
	20Q4	21Q4	増減率
売上収益	73	77	6.0%

	FY20	FY21 前回予想	FY21	対前年 増減率
売上収益	310	301	296	-4.8%

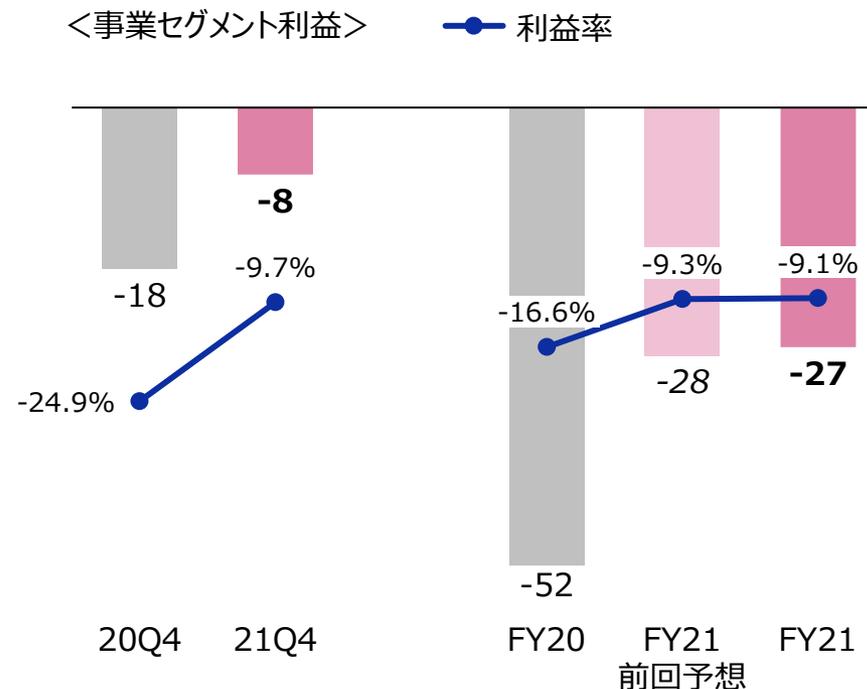
事業セグメント利益	-18	-8	-
営業利益	-45	-9	-

事業セグメント利益	-52	-28	-27	-
営業利益	-73	-7	-6	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>

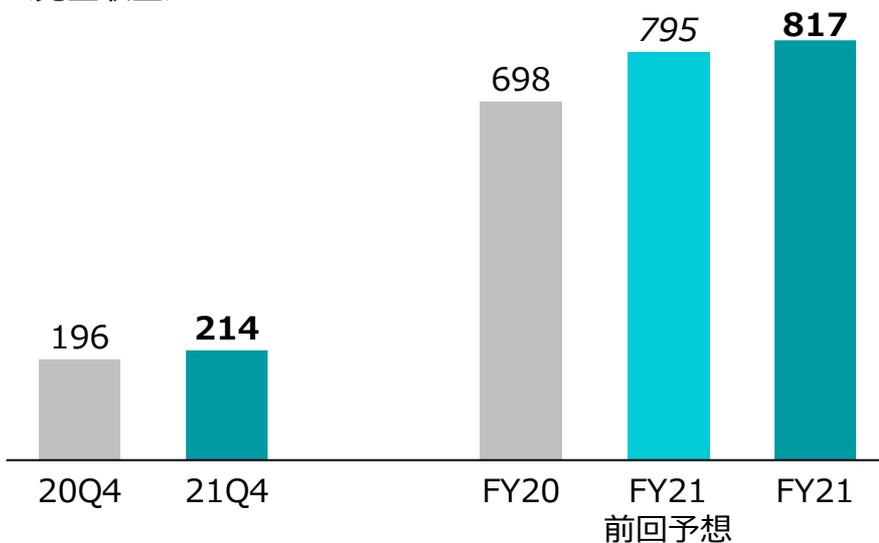


単位：億円

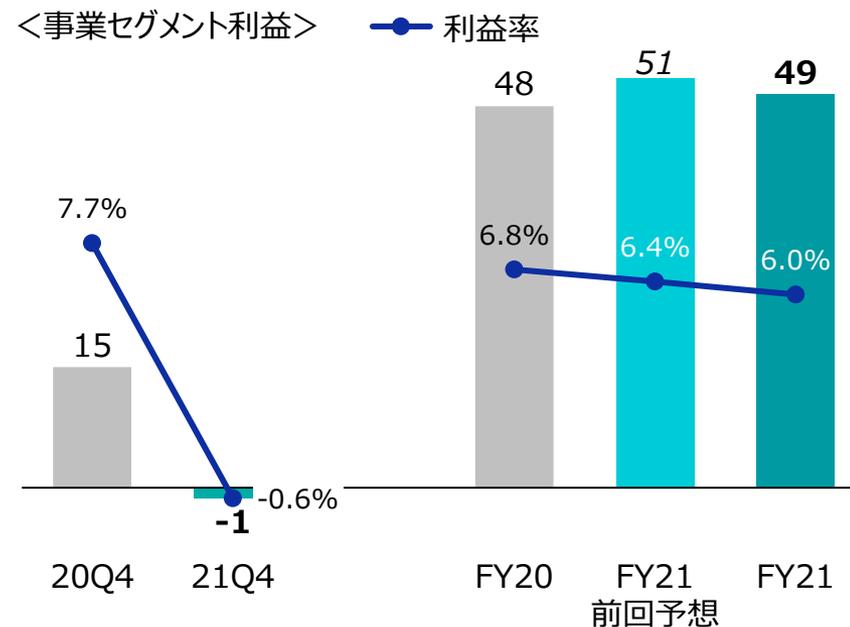
	20Q4	21Q4	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	196	214	9.2%	2.3%
米州	45	57	25.3%	13.9%
欧州	99	104	5.6%	2.7%
アジア他	52	53	1.7%	-1.5%
事業セグメント利益	15	-1	-	-
営業利益	-264	0	-	-

	FY20	FY21 前回予想	FY21	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	698	795	817	17.0%	8.1%
米州	176	196	202	14.6%	4.8%
欧州	324	367	379	16.8%	7.8%
アジア他	198	231	237	19.6%	11.9%
事業セグメント利益	48	51	49	3.0%	-
営業利益	-239	49	50	-	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



セグメント業績概要 (2022年度 業績予想)

※2022年度より、開示セグメントを変更いたします。
2021年度の数値は新セグメントへ組み替えたものを使用しております。

プリンティング&ソリューションズ事業

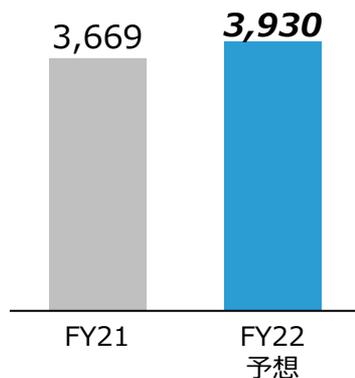
地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

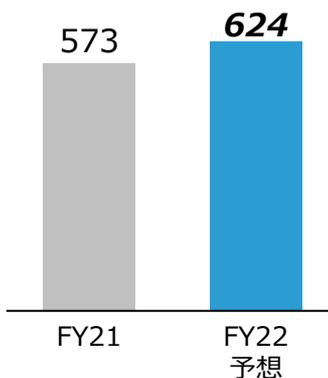
	FY21	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	4,242	4,553	7.3%	2.0%
通信・プリンティング機器	3,669	3,930	7.1%	1.8%
米州	1,307	1,518	16.1%	16.0%
欧州	1,210	1,151	-4.9%	5.6%
アジア他	698	732	4.9%	10.3%
日本	455	529	16.5%	16.5%
ラベリング	573	624	8.7%	3.2%
米州	260	282	8.5%	1.8%
欧州	173	188	8.6%	7.6%
アジア他	91	101	9.9%	2.3%
日本	49	53	8.1%	-3.1%

事業セグメント利益	598	485	-18.8%	-
営業利益	594	485	-18.4%	-

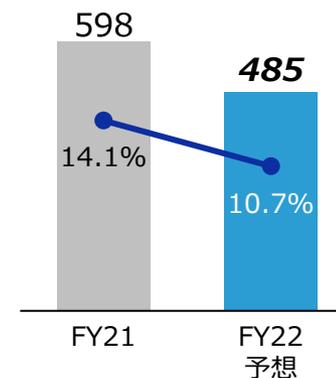
＜売上収益＞
通信・プリンティング機器



ラベリング



＜事業セグメント利益＞ ● 利益率



マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

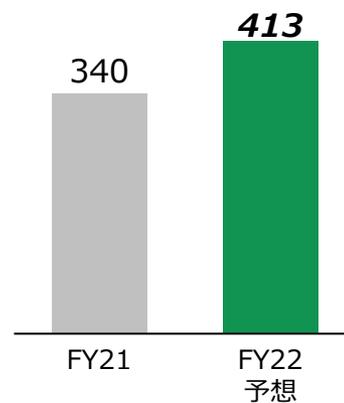
	FY21	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	905	1,070	18.1%	12.9%
産業機器	566	657	16.1%	12.1%
米州	33	36	9.6%	-
欧州	34	36	4.5%	-
アジア他	408	468	14.5%	-
日本	90	117	30.3%	-
工業用マシン	340	413	21.5%	14.2%
米州	94	116	23.4%	14.0%
欧州	72	84	15.4%	13.5%
アジア他	159	191	20.4%	11.1%
日本	15	22	52.3%	52.3%

事業セグメント利益	126	135	7.3%	-
営業利益	126	136	8.1%	-

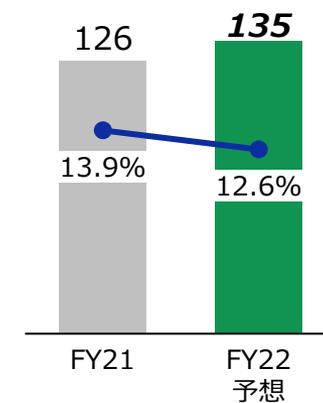
＜売上収益＞
産業機器



工業用マシン



＜事業セグメント利益＞ ● 利益率

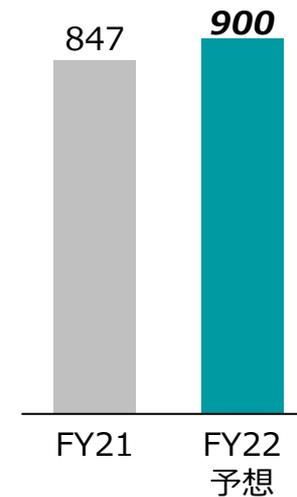


ドミノ	FY21	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	847	900	6.2%	4.7%
米州	202	215	6.7%	5.9%
欧州	379	388	2.5%	3.1%
アジア他	237	253	6.7%	3.8%
日本	30	44	45.5%	45.5%
事業セグメント利益	52	43	-16.7%	-
営業利益	43	42	-2.5%	-

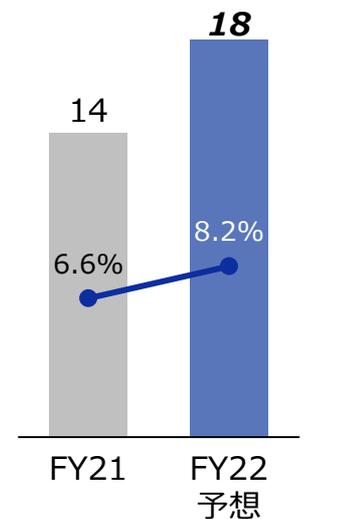
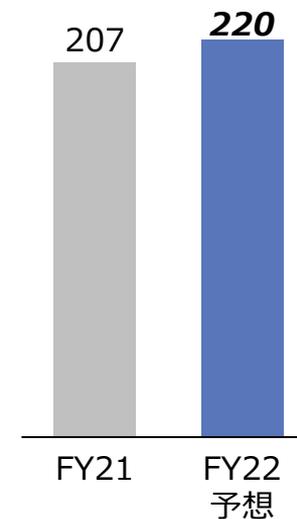
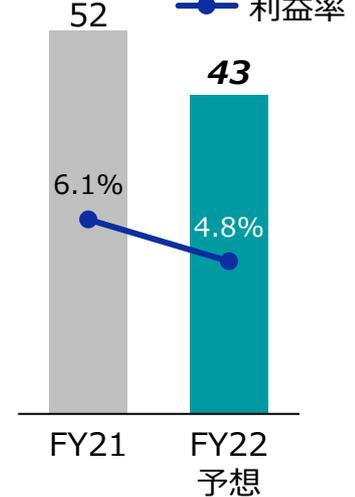
ニッセイ	FY21	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	207	220	6.1%	3.8%
米州	30	32	4.2%	-3.7%
欧州	-	-	-	-
アジア他	28	31	7.9%	-0.3%
日本	149	158	6.2%	6.2%
事業セグメント利益	14	18	30.8%	-
営業利益	13	16	18.6%	-

単位：億円

＜売上収益＞

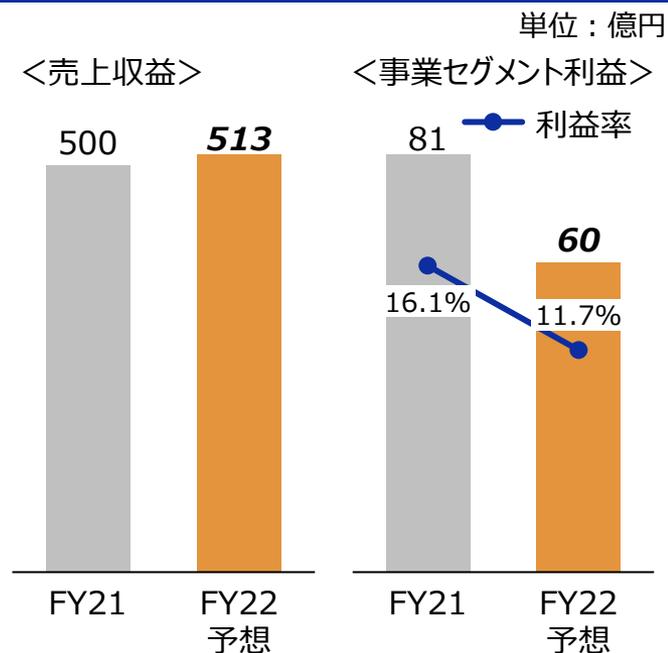


＜事業セグメント利益＞

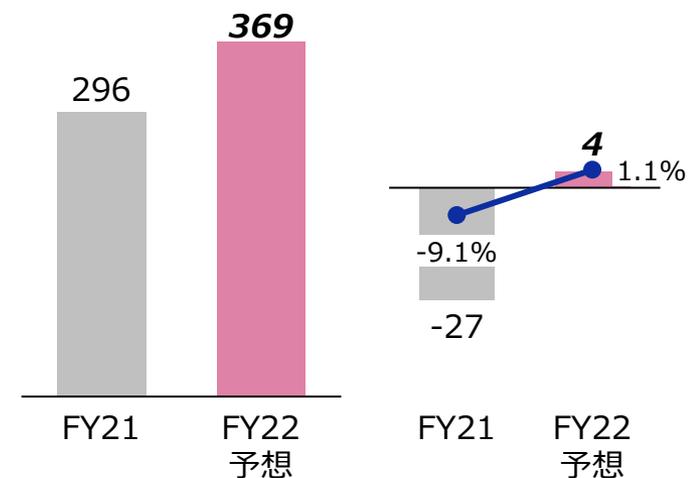


パーソナル&ホーム事業/ネットワーク&コンテンツ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

パーソナル&ホーム	FY21	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	500	513	2.6%	-2.6%
米州	277	295	6.4%	-0.8%
欧州	140	140	0.0%	-1.6%
アジア他	52	60	16.5%	8.8%
日本	31	18	-42.6%	-42.6%
事業セグメント利益	81	60	-25.7%	-
営業利益	82	60	-26.9%	-



ネットワーク&コンテンツ	FY21	FY22 予想	対前年 増減率
売上収益	296	369	24.8%
事業セグメント利益	-27	4	-
営業利益	-6	4	-

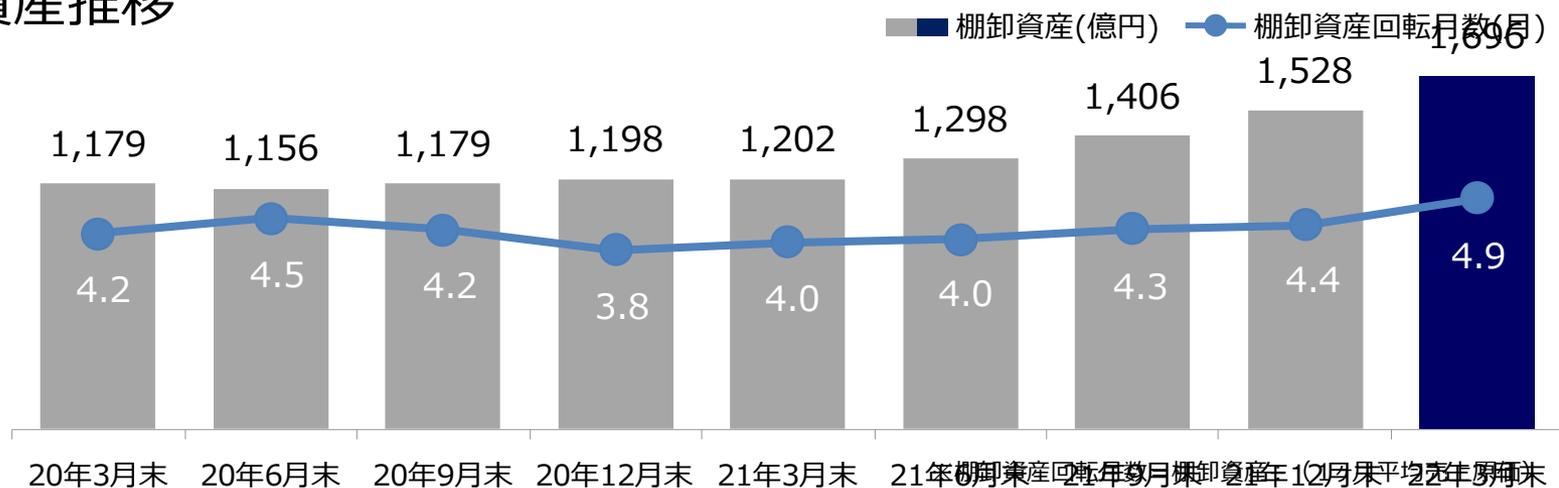


財務の状況 / キャッシュ・フロー /
設備投資 / 償却費 / 研究開発費

単位：億円

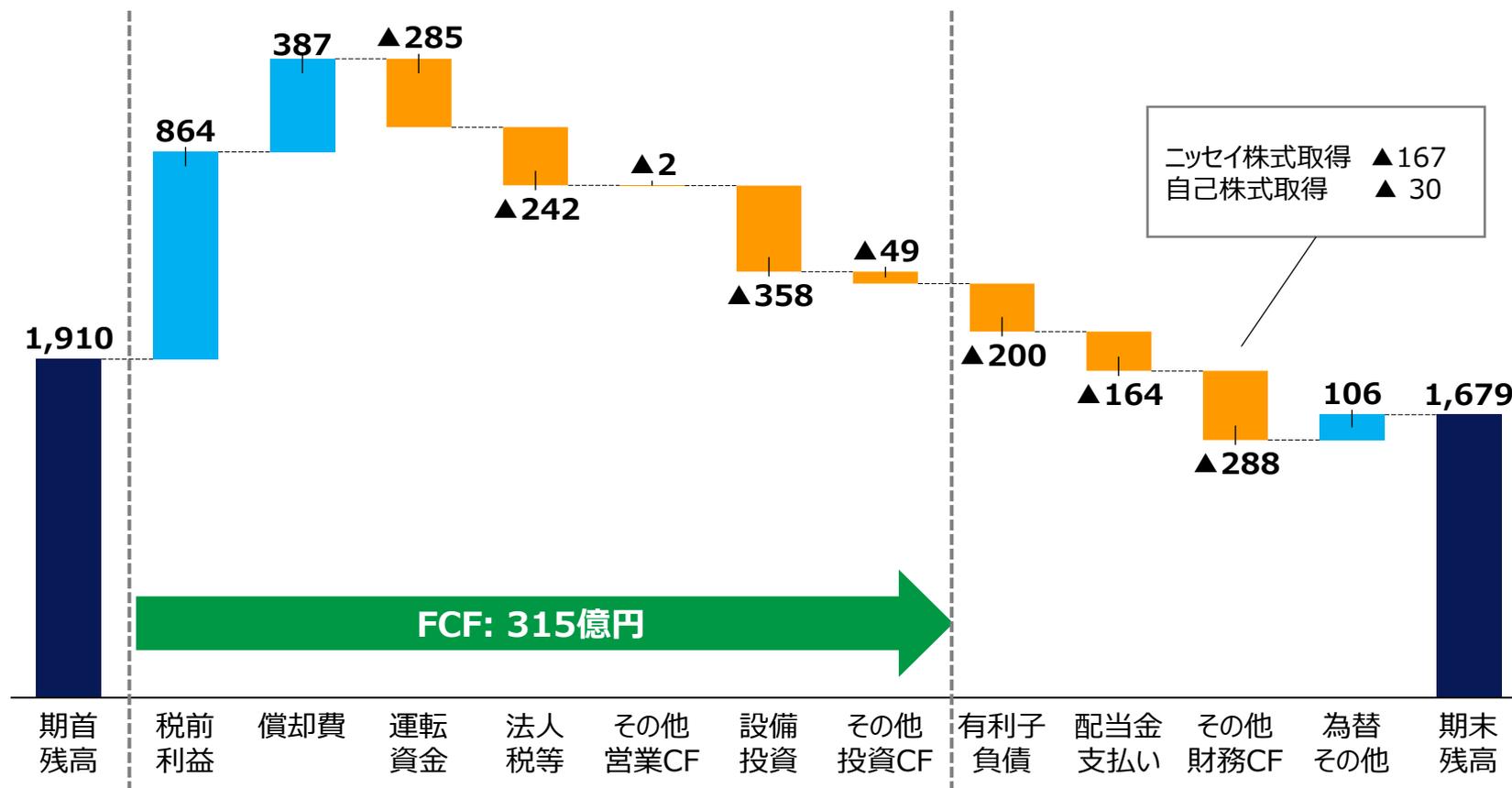
	20年度末	21年度末	増減	
流動資産	4,288	4,767	480	ネット・キャッシュ 20年度末 : +1,335億円 21年度末 : +1,271億円
現預金	1,910	1,679	-231	
棚卸資産	1,202	1,696	494	
非流動資産	3,151	3,344	193	
負債合計	2,442	2,499	57	株主資本比率 20年度末 : 64.9% 21年度末 : 69.2%
有利子負債	575	408	-166	
株主資本	4,831	5,611	781	
総資産	7,439	8,111	673	

棚卸資産推移



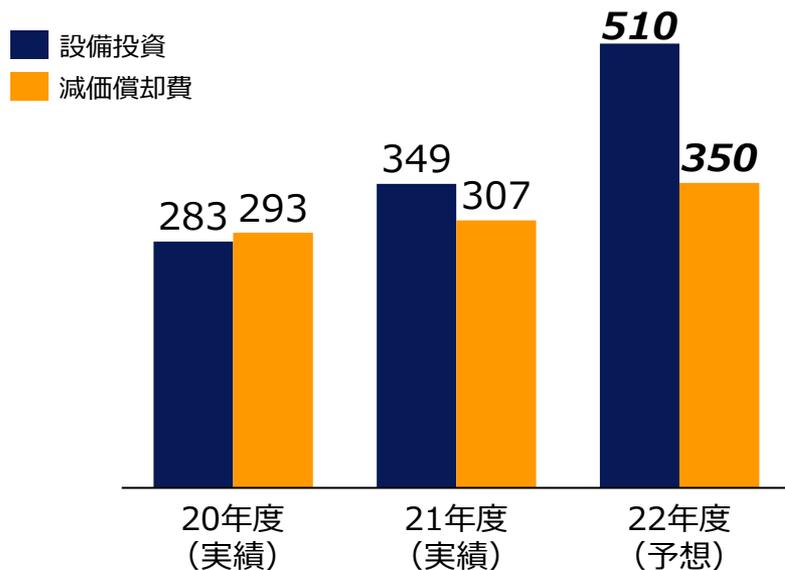
2021年度 キャッシュ・フロー分析

単位：億円

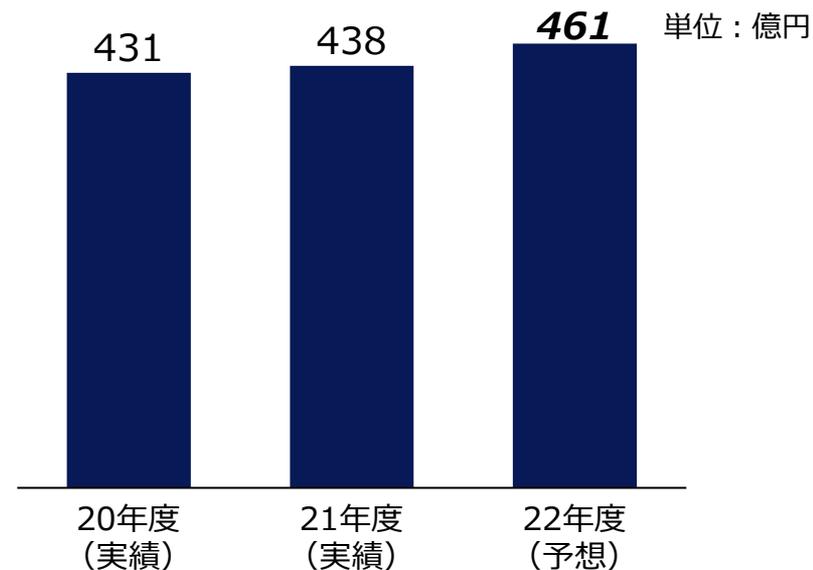


- ・償却費 : 減価償却費及び償却費 IFRS16号 (リースに関する基準) 適用に伴う、使用权資産の償却費を含む
- ・運転資金の増減 : 営業債権及びその他の債権の増減額 + 棚卸資産の増減額 + 営業債務及びその他の債務の増減額
- ・その他財務CF : IFRS16号 (リースに関する基準) の適用に伴いオンバランスとなった「リース負債」の返済額 88億円を含む

設備投資・減価償却費



研究開発費



事業別設備投資内訳

	20年度	21年度	22年度
P&S	135	154	264
マシナリー	30	47	30
ドミノ	21	21	52
ニッセイ*	-	-	31
P&H	10	10	18
N&C	19	21	43
その他	67	96	72
計	283	349	510

事業別研究開発費内訳

	20年度	21年度	22年度
P&S	283	280	276
マシナリー	51	48	64
ドミノ	40	55	56
ニッセイ*	-	-	9
P&H	20	20	25
N&C	9	7	10
その他	28	29	21
計	431	438	461

*ニッセイ事業は22年度からの開示、21年度以前はマシナリー事業に含まれます。

brother
at your side